

クオリティインディケーター (QI) 成果報告

〔監視室〕

指標名

省エネ対策：二酸化炭素 CO₂ 排出削減

目標・ゴール

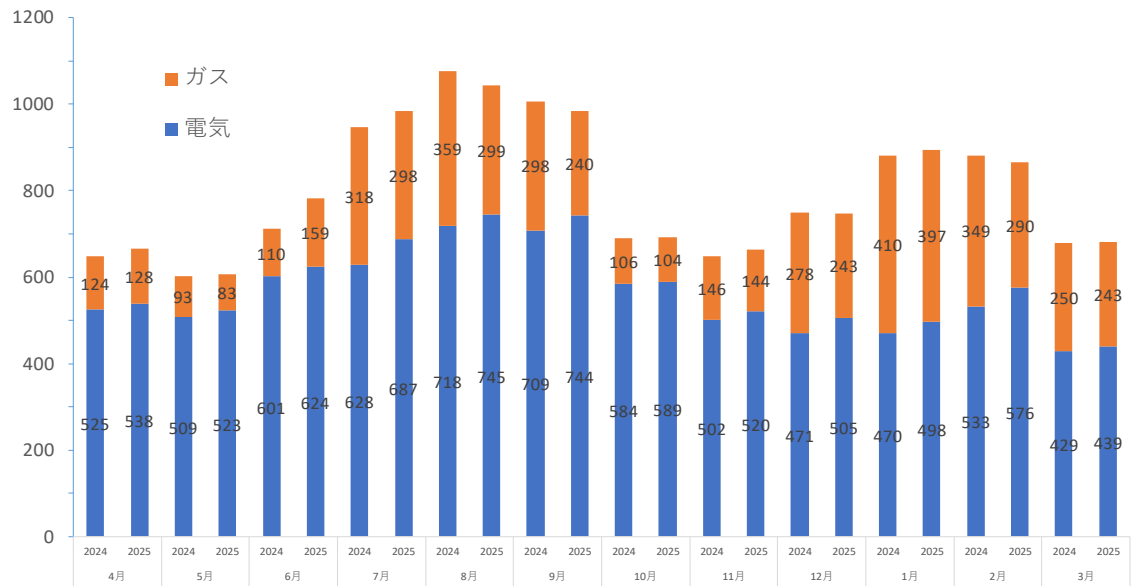
省エネ対策：CO₂ 排出量前年度比 1%以上削減

目標・ゴール達成による効果

省エネ定期報告書・地球温暖化対策義務率の達成

目標・ゴールに対する成果の状況

		CO2排出量																								単位：t-CO2	
種類		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
電気		2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025
ガス		2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025



CO₂ 計算式

電気使用量 (kwh) × 排出係数 (t-CO₂/kwh) = CO₂ 排出量 (t-CO₂)

ガス使用量 (m³) × 排出係数 (t-CO₂/m³) = CO₂ 排出量 (t-CO₂)

1. [成果]

CO₂ 排出量前年度比 増

照明器具を蛍光灯から LED にする事よりの CO₂ 削減ができた。

電気使用量では、昨年より削減はできたが

排出係数が増えたため電気での CO₂ 削減が 4.6%達成できなかった。

2. ガス使用量は前年度に比べ 7.5%削減でき、ガスでの CO₂ 排出量が減った。

3. 電気・ガス CO₂ トータルでは 1%増えた。

目標・ゴール達成度

□S :大幅に目標を上回った

□A⁺:目標を多少上回って達成

□A :目標を達成

■B⁺:目標を少し下回った

□B :目標を下回った

□C :目標を大幅に下回った

□ー :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

照明器具を蛍光灯から LED へ変更したことから使用電気量の削減に貢献した。

また、ガス使用量も昨年度より削減出来ており引き続き省エネに貢献していきたい。

